

アクリルシリコン樹脂系シーラー

# DIAX ダイヤセランプライマーS F☆☆☆☆

- 特長 ■無黄変タイプであり、クリアー仕上がが可能です。  
 ■豊富な下地適性、上塗適性をもっています。  
 ■無機質下地(コンクリート、窯業系サイディングボード等)に対する付着性が良好です。

| 工程 | 製品名  | 割合割合   | 所要量   | 塗回数   | 間隔時間 | 施工器具          |                      |
|----|------|--|---|---|------|---------------|----------------------|
| 1  | 下地調整 | ゴミ、油、その他付着物は除去し、水分10%以下(pH10以下)に管理する。            |   |   |      |               |                      |
| 2  | 素地調整 | ダイヤセランプライマーS A液<br>ダイヤシナーPS B液<br>エアレス<br>中毛ローラー | 14kg<br>2kg<br>2~5 <sup>リットル</sup><br>0~3 <sup>リットル</sup> | 0.1~0.15kg/m <sup>2</sup><br>107~160m <sup>2</sup> /セット | 1    | 2時間以上<br>7日以内 | エアレス<br>中毛ローラー<br>刷毛 |
| 3  | 上塗材  | 上塗材の仕様に準拠する。                                     |   |   |      |               |                      |

※1 間隔時間は、標準状態(23℃、50%RH)での時間を示します。 ※2 所要量は下地の種類や状態により増減します。間隔時間は環境条件によって多少の差異があります。

適性比較表

- : 適用できる  
 △: 条件により適用できる  
 ×: 適用できない

※状況により適用できない場合がありますのでご相談下さい。

|      | 名称                | ダイヤセランプライマーS | 溶剤系エポキシシーラー | 水系万能シーラー |
|------|-------------------|--------------|-------------|----------|
| 下地適性 | 溶剤アクリルウレタン塗料      | ○            | ○           | ○        |
|      | 溶剤アクリルシリコン塗料      | ○            | △           | ×        |
|      | 溶剤系フッ素塗料 ※2       | ○            | ×           | ×        |
|      | 貼りタイル             | ○            | ×           | ×        |
|      | 押出し成型板 ※1         | ○            | ○           | △        |
|      | GR板               | ○            | ○           | △        |
| 上塗適性 | 溶剤系アクリルウレタン塗料     | ○            | ○           | ×        |
|      | 溶剤系アクリルシリコン塗料     | ○            | ○           | ×        |
|      | エマルションペイント(EP) ※3 | △            | △           | ○        |
|      | 反応硬化形溶剤系クリアー      | ○            | ×           | △        |
|      | 単層弾性塗材            | ×            | ○           | ○        |
|      | 複層弾性塗材            | ×            | ○           | ○        |

※1 ラムサイディングボードの薄型タイプの場合はお問合せ下さい。 ※2 軟質タイプの場合はお問合せ下さい。  
 ※3 溶剤系のシーラーを使用する際、ハジキが発生する場合は水系の下塗材をご使用下さい。

適応下地

コンクリート、モルタル面、PC板、窯業系押出し成型板等の各種ボード

施工・管理上の注意

【塗装面の調整(新設)】

- ① 素地に付着している塵、汚れ、油脂類、レタナス等を完全に除去して下さい。
- ② セメント質下地は、表面の含水率10%以下(pH10以下)になるまで放置して下さい。モルタルは十分に乾燥させて下さい。モルタルの乾燥期間は、夏期で1週間、冬期で2週間以上必要です。コンクリート下地は、夏期で2週間、冬期で3週間以上乾燥が必要です。
- ③ 雨上がり後は、均一に乾いてから施工して下さい。
- ④ PCパネル、現場打ちコンクリートの場合
  - 1) 豆板、木コン、破損箇所、不陸などは、セメントフィラー、セメンシヤス#2000、セメンシヤス#2500、リマモル#70等の下地調整材を使用し、補修して平滑して下さい。
  - 2) 表面が緻密でレタナス層がある場合は、レタナスを除去し、ダイヤガンコンローラー又は、ダイヤシーラーエポをご使用下さい。
- ⑤ ALCパネルの場合  
 ダイヤパネオンフィラーを塗布して下さい。

【塗装面の調整(新設・改修共通)】

- ① 屋上防水、目地排水管など水の浸透が予想される箇所については、事前に十分点検し適切な処置をして下さい。
- ② 使用シーリング材の種類により塗膜のひび割れ、剥離、ブリード等の異常を生じる場合があります。あらかじめ塗装仕様を確認して下さい。
- 【塗装面の調整(改修)】
- ① 各現場の改修工事仕様に基き劣化部分の補修や既存塗膜の処理(ケレン、清掃、高圧水洗浄)などを行なって下さい。
- ② 脆弱層が厚い場合には、取り除いてから施工して下さい。
- ③ チョーキングは、サンダー、ワイヤブラシ等でケレン後、高圧洗浄で除去して下さい。
- ④ 既存塗膜の種類によりフティング(シブ)を生じることがありますので、あらかじめ目立たない箇所を確認して下さい。

【材料の保管・管理】

- ① 開缶した材料は必ず密封し、直射日光や雨露を避けて保管して下さい。
- ② 材料の保管は凍結や温度上昇による変質を避けるため、気温5~35℃で、密封のまま直射日光を避け、屋内に貯蔵して下さい。長時間貯蔵したものは十分攪拌し、変質の有無を確認して下さい。
- ③ 下地の製品は危険物ですので、火気や換気に十分注意して下さい。

ダイヤセランプライマーS、ダイヤシナーPS

- ④ 硬化剤は湿気や酸化しますので、使用後は密栓して保管して下さい。
- 【施工】
- ① 気温5℃以下、降雨、降雪、強風下および湿度85%以上の場合、または予想される場合には施工を避けて下さい。また作業後に、降雨、降雪の恐れがある時は雨(雪)養生をして下さい。
- ② 材料は使用前に十分攪拌し、均一にしてから使用して下さい。配合割合を誤りますと、成膜不良や本来の塗膜性能が発現できませんので注意して下さい。
- ③ 材料は付着乾燥しずと取れませんので、完全に養生をして下さい。塗付面周辺の養生を完全に行ない、施工時建物の周辺に飛散しないように注意して下さい。また、塗付後は、速やかに養生紙や養生テープを取り除き清掃して下さい。乾燥後、養生テープを取り除く場合はカッターを入れて下さい。そのまま取り除きますと珪が残りハビロとなります。
- ④ 乾燥時間は、温度、湿度、および、風等により差異を生じます。
- ⑤ コンプレッサーを使用する場合は必要十分な能力以上のものをご使用下さい。
- ⑥ 下地は十分に乾燥してから施工して下さい。乾燥不十分の場合、色ムラ、剥離等の生じる原因となります。
- ⑦ 施工にあたっては、同一方法で、入り隅、出隅等見切りの良いところまで仕上げして下さい。同一壁面途中での塗り継ぎは色違いやムラの原因となります。
- ⑧ 施工後24時間以内に降雨、結露等があった場合、水分の影響で白化や色ムラが発生し、壁面に残ることがあります。
- ⑨ 本施工に入る前に試験塗りをし、施工のタイミング、粘度、塗布量などをチェックし、仕上がりムラにならないよう確認して下さい。
- ⑩ 希釈する場合、希釈量を厳守して下さい。薄過ぎるときれいに仕上ることがありません。特に濃色や下地の吸い込みがある場合は少なめに希釈して下さい。
- ⑪ 常に結露が発生する地域・時期での施工は避けて下さい。
- ⑫ 安全衛生上の注意事項については、容器の表示も合わせてご参照下さい。
- ⑬ 一度に厚く塗ると色分けや発泡が生じることがあるため、間隔時間を守り、規定回数以上に分けて塗布して下さい。
- ⑭ 塗装下地の差によって、塗布量が変わる場合があります。
- ⑮ フッ素や無機系などの難接着塗装処理がされている下地については、付着性が十分に発揮されないおそれがありますので、ご使用の場合は最寄の営業所へご相談下さい。

- ⑯ 使用時間及び塗装間隔は厳守して下さい。層間密着性の低下の原因となります。
- ⑰ 使用した器具類は直ちに洗浄して下さい。放置しますと硬化して洗浄することが難しくなります。
- ⑱ ダイヤセランプライマーSは2液タイプですので、小分けする場合は割合割合を厳守し、十分混合して下さい。又、混合したものは可使時間の内に使い切して下さい。
- ⑲ 濃色や原色に近い色の場合、強くすると色が取れる場合があります。
- ⑳ 下地の吸込みムラにより色彩のムラが発生する場合があります。
- ㉑ シーラーと上塗りに混合するとケル化作用の恐れがありますので、容器・刷毛・ローラーなどの共用は避けて下さい。
- ㉒ 上塗材を施工する場合は、下塗り後の乾燥状態を確認して下さい。
- ㉓ 既存塗膜の劣化が著しい場合、また既存塗膜がセメント系の場合には高圧水洗後にダイヤガンコンローラーまたはダイヤワイドシーラーを塗布して下さい。

【安全衛生上の注意】

- ① 取扱いは、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防護マスク、保護メガネ、保護手袋を着用して下さい。
- ② 取扱後は、手洗い及びうがいを行って下さい。
- ③ 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- ④ 作業中・作業後は十分換気を行って下さい。
- ⑤ 廃塗材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。
- ⑥ 目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ⑦ 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ⑧ 中身を使い切ってから廃棄して下さい。
- ⑨ 皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときは医師の診断を受けて下さい。
- ⑩ 臭い、蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- 【その他】
- ① その他、詳しくは最寄の各営業所へお問い合わせ下さい。
- ② 施工に際し、施工・管理上の詳細な注意点については仕様書等をご確認下さい。
- ③ 施工に際し、安全衛生上の詳細な注意点については安全データシート(SDS)をご確認ください。

製品・工法に関するお問い合わせはホームページのブランドサイト <https://www.dia-dyflex.jp/> にてご確認のうえ各地域のオフィスまでお願い申し上げます。

2023年4月1日よりシーカグループの株式会社ダイフレックスは日本シーカ株式会社と統合され、新たに **シーカ・ジャパン株式会社** としてスタートいたしました。